

# さなめ寿劇場

其之七

令和6年

1/8 月祝

開場

13:30~

開演

14:00~15:30

さなめ寿劇場は、かつて米子市淀江町内にあった芝居小屋「戎座」や  
隠岐の島から譲り受けた「寿座（のちに寿劇場）を懐かしみながら  
様々な芸能を楽しんでいただく企画です。



落語  
桂 文吾



落語  
桂 小文吾

琴アンサンブル安田会

安田 彰



エレキ紙芝居 ゴロ画伯

吉川広家物語

米子城を築いた  
風雲児 吉川広家  
ここに見参！



会場

米子市淀江文化センター  
イベントホール

入場料

- 大人 1,000 円
- 小学生～高校生 500 円
- ※ 未就学児無料

チケット発売  
12月3日⑧

プレイガイド

米子市淀江文化センター、米子市公会堂、  
米子市文化ホール、米子市児童文化センター

主催・お問い合わせ先

さなめ寿劇場実行委員会  
一般財団法人 米子市文化財団 [ 米子市淀江文化センター ]  
☎ 0859-39-4050

共催 米子市

< 開館時間 > 9:00 ~ 22:00  
< 休館日 > 毎週水曜日 ※祝日の場合は翌日、年末年始 12/29 ~ 1/3



# さなめ壽劇場

## 其之七

令和6年1月8日(月・祝)  
米子市淀江文化センター イベントホール

## プログラム・出演者紹介

※プログラムは変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。



### い 琴アンサンブル安田会 安田彰

8歳から地元の琴教室に通い、10歳で初舞台を踏む。  
高校生の時に兄弟ユニット 琴アンサンブル二人の会を結成し、米子市音楽祭に初出演。その後、米子市音楽祭をはじめ、さなめラララ♪すてーじ、地域のイベントなどで活動している。

普段は学生とのアンサンブルで活動していますが、今回はソロで演奏します。  
新しい年を迎えた晴れやかな雰囲気を琴の音色でお届けします。  
皆さん一緒に楽しみましょう。



### ろ ライブ漫画家 ゴロ画伯(松村 宏)

松村宏(舞台名・ゴロ画伯)はライブ漫画家です。  
朝日新聞東京本社の報道デザイン部門に約10年在職、そののち漫画家・イラストレーターとして独立。筑紫哲也NEWS23で似顔絵ニュースアニメを制作。映画「おくりびと」などの絵コンテを担当。  
2011年から自作のイラストを大型スクリーンに投影して自ら演じて語るライブ漫画(エレキ紙芝居)というステージ活動を始める。作品内容は多岐にわたるが「粋と大和ごころ」を伝えることをテーマに製作している。



### は 落語 7代目 桂 小文吾

1994年9月11日生まれ、鳥取県鳥取市出身。  
鳥取市立美保南小、南中、鳥取県立西高校卒業後、東京農業大学短期大学部生物生産技術学科から東京経済大学コミュニケーション学部コミュニケーション学科へ3年次編入学。  
2018年から落語の世界に入り、2020年に6代目桂小文吾門下へ。  
桂吾空として活動し、2022年7月より師匠の名跡、小文吾に改名。



### に 落語 6代目 桂 文吾

京都市出身、米子市在住。上方落語。  
昭和27年、15才で5代目桂文吾の弟子になり、6代目桂小文吾を名乗る。  
大師匠にあたる4代目桂文吾は、落語の名作「らくだ」を完成させた噺家。  
宝塚若手落語会、三越新人落語会などに出演、少年落語家として活動。  
昭和32年、20才の時に落語界を離れて宝塚新芸座の座員になり、役者として舞台、テレビ、映画に出演。その後、自分の芸道に行き詰まり劇団を退団、芸能界を引退。昭和40年、28歳の時に縁あって山陰に移住し、ある会社に勤務。63歳で退社。その後、平成13年頃より、上方落語の噺家と交流を図り、山陰の噺家として復帰する。米子市児童文化センター落語クラブ講師。  
NHK鳥取「桂小文吾の出前落語」平成14年から16年まで、18本収録。  
中海テレビ「桂小文吾の落語会」平成19年から23年まで、30本収録。  
倉吉豊田亭にて落語寄席に出演。夜見町迎接待院ワンコイン落語寄席を開催。  
桂文吾の事を書いた本『噺家根問・雷門小福と桂小文吾』発売中。  
シニア劇団「笑劇座」座長。令和4年6月に、6代目桂文吾を襲名。